

脳定位放射線照射における直前 MRI 再撮像の有用性に関する研究

1. 研究の対象

2015年1月1日から2020年12月31日に、当院で脳定位照射を受けられた方

2. 研究目的・方法

脳定位照射は、脳転移に対する重要な治療法の一つです。MRI画像による評価が必須ですが、脳転移の状態は経時的に変化することが予想されます。治療前に複数回の検査を受けられた方の病態変化について詳細はまだよく判明しておらず、その有用性について研究することが治療成績の予測、改善につながると考えております。

本研究におきましては、脳定位照射を受けられた方の治療前の脳転移の状態、治療の内容、治療後の経過に関しまして、診療録、画像データなどの記録を参考に調査致します。

研究期間：実施許可日～2025年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究におきましては、対象となる方の、治療前の脳転移の状態、定位照射の内容、治療後の経過に関しまして、診療録（がん種、治療歴など）、画像データ（転移の大きさ、個数など）などの記録を参考に調査致します。血液などの試料は用いません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

川崎市立川崎病院（電話：044-233-5521）
放射線治療科 栗林徹（内線：）

研究責任者：

川崎市立川崎病院（電話：044-233-5521）
放射線治療科 栗林徹（内線：）